

小さいお子さんから

『くまくまパン』
にしむらとしお 西村敏雄 / 作
しほぼろ あかね書房



パン屋をはじめてくまさんとしろくまさん。おいしいと評判になったのに、おすすめのパンのことでケンカしてお店を閉めてしまいました。そこに評判を聞きつけた王様のかばがやってきて…。王様はおいしいパンを食べることができるかな？

おはなしかい

- ようび：どようび・にちようび
- じかん：ごご2じ～(30ぶんほど)
- ☆だい1・3・5 だようびは、にじのかい

ぴよぴよおはなしかい

- ようび：だい2・3 すいようび
- じかん：ごぜん11じ30ぷん～
- ☆えほんやわらべうたなど、0～2さいのおこさんとおうちの方向けの楽しいおはなしかいです。

ていねいから

『えいっ』
みきたく さく たかはだけしゅん え 三木卓 / 作 高富純 / 絵
りろんしゃ 理論社



町へ買い物にやってきたくまの子とお父さん。赤信号で待っていると、お父さんが「えいっ」といって、青信号にかえてくれました。くまの子もステキなことをおこそうと考えて…。

中学年から

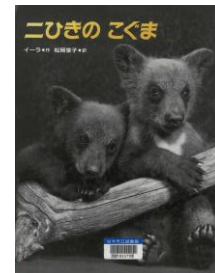
『3びきのくま』
たちもとみちこ / 作
ブロンズ新社



ある日、くまの家族は、散歩に出かけました。ちょうどそのころ森で迷い疲れたはたた女の子がくまの家を見つけました。家の中からはおいしそうなスープのにおいがしてきます。お腹もすいて、足がたくたの女の子はくまの家に勝手に入っていく…。

高学年から

『二ひきのこぐま』
イーラ / 作 まつおかまよ子 / 訳
こぐま社



好奇心旺盛な双子のこぐまの冒険物語です。春になり、はじめて巣穴の外にでてきたこぐまたち。お母さんとの約束を破って、遊びに夢中で迷子になってしまったこぐまたちは…。モノクロ写真の迫力ある写真絵本です。

家読リスト

よもよも。

☆毎月23日は、
『朝倉市子ども読書の日』



2017年 4 がつごろ

あさくらしちゅうおうとしょかん

あかちゃんから

『くまさん』
まど・みちお / 詩 ましませつこ / 絵
こぐま社



「ええと ほくは だれだっけ」冬眠からさめたくまさんは、巣穴からでてきました。でも、まだぼんやりしていて…。春がやってきたよこびが、やさしい詩と絵で伝わってくる絵本です。

小さいお子さんから

『かってな くま』
さのようこ / 文 ひろげん / 絵
佐野洋子 / 文 広瀬 絵
偕成社



くまさんがくわで土をほりかえしています。うさぎが「なにしているの？」ときいても、「かってだろ」と教えてくれないくまさん。いつでも勝手気ままなくまさんと森の友達のお話です。